

東松島 シルバーセンター

第16号

平成27年1月15日発行

発行所 (公社)東松島市シルバー人材センター編集委員会
宮城県東松島市小野字新宮前5番地
TEL 0225(86)1097 FAX 0225(86)1277



センター役員と事務局職員

謹賀新年

理事長 齋藤 壽朗
 副理事長 伊藤 隆
 理事 菊地 良大
 理事 松浦 正義
 理事 紺野 聖二
 理事 佐藤 いよ子
 理事 嶋田 和義
 理事 伊藤 宏
 理事 尾形 俊文
 理事 佐々木 善吾
 理事 大崎 よう子
 監事 佐々木 義美
 監事 門屋 征八郎
 常務理事兼
 事務局長 奥田 俊郎
 総務係長 沼倉 ひろ子
 業務係 齊藤 二三代
 ” 及川 洋平

新しい年を迎え
 本年もよろしく
 お願い申し上げます



平成二十七年元旦

新年のごあいさつ



理事長 齋藤 壽朗

れで平成二十四年度から三年連続で一億円を超えることとなります。これもひとえに会員の皆様の頑張り、関係皆様方のご支援のたまものと思っております。

明けまして、おめでとうございます。皆様方には、ご家族お揃いでお健やかに初春を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

日頃、当センターの事業、諸行事等にご理解、ご協力を頂き感謝申し上げます。さて、早いもので東日本大震災の発生から四年になるうとしております。東松島市においては、市当局始め関係皆様方のご尽力により、復旧・復興に向けて着実に歩みを進めており、災害公営住宅も他市町に先駆け各地区で完成し入居をしております。被災された方々の移転先の土地の造成も進んできております。当シルバー人材センターにおいては、震災後の厳しい環境を乗り越え、役員、役職員が一丸となって取り組んできた結果、本年度においても契約金額が一億円を超える見込みとなり、こ

もある、会員の生きがいの充実と福祉の増進を図るために、平成二十七年年度において会員互助会を再設立することになりました。現在、設立準備委員会を立ち上げて、再設立に向けて鋭意検討を進めておりますが、会員の皆様も趣旨に賛同されまして、全員が入会されますようお願い申し上げます。東松島市においては、東日本大震災の、復旧・復興

に多額の財政負担が伴い、非常に厳しい財政状況の中、変わらぬ支援を賜り厚く御礼を申し上げます。市当局のご支援に對しまして、当シルバー人材センターとしてはこれまで以上に「就業の場の確保」、「生きがいの充実」、「社会参加の推進」を目指し、会員の知識、経験、技能等を生かしながら、積極的に施策を展開し、地域の活性化に一

定の役割を果たしてまいりたいと考えております。役員を始め、会員の皆様方と一丸となってシルバー事業を推進してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いを申し上げます。終わりに、会員の皆様方を始めご家族の皆様が、ご健康で良い一年でありますよう、ご祈念を申し上げます。まして新年のあいさつと致します。

「年頭のご挨拶」



東松島市長 阿部 秀保

加速し、だれも経験したことのない超高齢化社会になると見込まれます。

新年明けましておめでとうございます。会員皆様にはお健やかに新春をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。また、市政並びに東日本大震災からの復旧復興にご支援とご協力を賜り心から感謝を申し上げます。

さて、東松島市の高齢化率は二四・八％に達し、年々高齢者世帯が増加しております。今後も少子高齢化は

将来にわたって持続可能で心豊かに暮らすことのできる社会を実現するために、皆様のような長い職業

生活で培われた知識、能力、経験が求められております。今後も健康で活躍されることをご期待申し上げます。震災から三年九ヶ月が経過しました。昨年は、一部の災害公営住宅で入居や宅地引き渡しが始まるなど、復興の形がハッキリと目に見えてまいりました。今年は大規模な東矢本駅北防災集団移転地の引き渡しや、仙石線の全線再開が見込まれております。大震災からの早期復興に向け全力でまちづくりに取り組みでまいりますので、引き続き会員皆様方のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

新年を迎えて

安全・適正就業委員長 菊地良大



新年明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに希望に満ちた新年をお迎えになられたことと存じます。又、当安全・適正就業委員会の業務運営につきましては、日頃よりご理解とご協力を頂き厚く御礼を申し上げます。お陰様で昨年は、目立った大きな事故もなく過ごせたのも皆様方の注意とご協力のお陰と感謝申し上げます。本年におきましても昨年同様何事もなく細心の注意で無事故をお願致します。

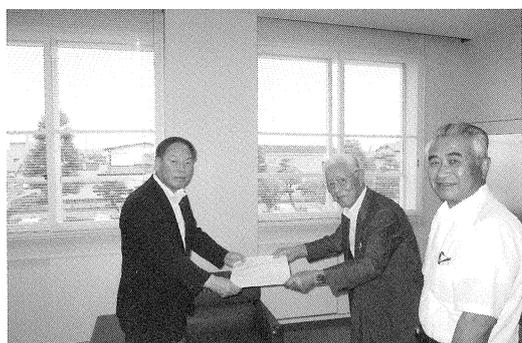
安全・適正就業委員並びに地区安全対策員の方々は、皆様の就業事故や通勤等における交通事故を全力で未然防止に努力をしております。事故発生について予想もしない様々な事故が想定されます。特に作業種別を分ければ、①植木剪定作業、②草刈作業、③塗装作業、④樹木伐採作業、⑤その他の作業などが有ります。事故発生の防止を図るには、次の事項が最善の方法ではないかと考えられます。事故は、常にどの就業においても介在するものであるということであり、慌てたりしない。

- 作業現場では、道具等は出来るだけ片付けておく。
 - 器具類の使用前には、作業点検を行う。
 - 健康に自信が無い時は、作業中でも勇気を出して周囲の会員に申し出て休む。
 - 出勤・帰宅時は、左右・後方の安全確認をする。間違っても自分の不注意で事故を起こさない。
- 平成二十六年重点実施事項は、次の四項目です。
- 一、安全・適正就業委員、就業現場の安全適正就業の指導の実施
 - 二、安全意識高揚の為に普及啓発の実施
 - 三、安全講習会の実施
 - 四、受託した業務の自主点検の実施

市長へ支援の要請

平成二十六年七月三十一日、東松島市役所を訪問し、阿部市長に対して、齋藤理事長より「生涯現役社会の実現」に取り組むシルバー人材センターへの支援の要望を行いました。

当日は、センターから齋藤理事長、伊藤副理事長、奥田事務局長が出席し、東松島市からは阿部市長、勝又商工観光課長が出席いたしました。



センターからは、センター事業の概要（補助金及び職員の状態、就業開拓員の実績、会員数、受託金額の推移等）を説明し、市からの補助金の確保と公共事業の発注及び就業開拓員の委託の継続について要請をいたしました。

安全就業推進者の表彰

平成二十六年一月二十一日、宮城県シルバー人材センター「平成二十五年安全就業推進大会」がホテル白萩において開催され、安全就業貢献者として、監事門屋征八郎さんが表彰されました。

おめでとうございます。

とから、今後も支援して行くとの大変有り難い言葉を賜りました。

平成26年度お客様アンケート調査報告

この調査は、当センターをご利用いただいたお客様から仕事等に関するご意見を伺い、今後の業務内容の改善・充実、新たな就業開拓に活かすために実施いたしました。

この結果をもとに、お客様の満足度向上を目指し努力してまいります。

- 調査実施期間 平成26年6月5日～11月28日
- 調査対象者 平成26年5月～11月までの利用者を受動的に選択
- 調査方法 就業開拓員が個別訪問し質問に対する回答の形式で実施
- 回答者数 100名
- 職種別件数

植木剪定	24件	農作業	21件	草取り	18件	草刈り	6件
塗装	5件	障子張り	5件	大工工事	4件	その他	20件

この調査は、簡単なアンケート用紙を使い、質問に対する回答形式で行いました。お客様の仕事に対する満足度、会員の就業態度、また頼みたいか等についての結果をお知らせいたします。

◎仕事に対する満足度は、満足が75件、普通が19件、不満が6件でした。不満をなくすように頑張りましょう。

◎会員の就業態度は、良いが77件、普通が20件、悪いが2件となっております。悪いをなくすように努力してまいりましょう。特に私語がお客様に悪印象を与えております。就業中は私語を慎みましょう。

◎また頼みたいかは、頼みたいが96件、検討する3件、頼まない1件と非常に良い結果でしたが、頼まないと言われないように誠実に仕事を行いましょう。

お客様からの主なご意見

☆とても丁寧にいただき満足しています。(草取り)

☆とても助かっています。これからも利用して行きます。(農作業)

☆全部片づけてもらいきれいになった。来春農作業をお願いします。(植木)

☆大変満足している。金額も安くて有難いです。何かあったらまたお願いします。(塗装)

☆助かっています。これからもお世話になります。(草刈り)

☆ブツブツ言いながら仕事をしていた。悪口言われているようで感じ悪かった。(植木剪定)

☆手も動いていると思うが、話をしながら作業をしていた。(農作業)

平成26年度会員就業意向調査報告

この調査は、当センターの会員から就業に関する意向を聞き、今後の事業運営の参考にするために実施いたしました。この調査結果をもとに、会員がより就業しやすい環境、制度づくりに努めてまいります。

- 調査実施期間：平成26年9月24日～10月19日
- 調査対象者：調査時点で会員として登録している者
- 調査方法：アンケート用紙による無記名回答
- 回答者数：125名（回収率44%）

地区	矢本	大曲	小松	赤井	大塩	鳴瀬	全体
送付数	72	45	29	42	25	69	282
回答数	26	36	20	12	5	26	125
回収率	36	80	69	29	20	38	44

★調査結果

①センターの会員を続けている理由は次のうちどれですか。

項目	件数	比率	項目	件数	比率
体や健康のため	66	35	他に仕事が見つからないから	4	2
生きがいづくりのため	30	16	時間をもてあましているから	11	6
家計を補うため	20	10	家にいたくないから	2	1
仲間がいるから	21	11	その他	1	1
経験や能力を活かせるから	9	5			
社会参加の喜びを得るため	24	13	合計	188	100

②1ヶ月に何日くらい働きたいですか。

項目	件数	比率
1～5日	20	16
6～10日	38	30
11～15日	44	35
16日以上	23	19
合計	125	100

③1日何時間くらい働きたいですか。

項目	件数	比率
1～2時間	7	6
3～4時間	44	35
5～6時間	67	54
7時間以上	6	5
合計	124	100

④1ヶ月にどれくらい配分金が貰えるといいですか。

項 目	件 数	比 率
3万円くらい	44	36
5万円くらい	45	37
8万円くらい	27	22
10万円以上	6	5
合 計	122	100

⑤過去1年間でセンターの仕事をしましたか。

項 目	件 数	比 率
した	113	91
しない	11	9
合 計	124	100

⑥⑤で「しない」と答えた方にお聞きします。その理由はなんですか。(複数回答可)

項 目	件 数	比 率
仕事の斡旋がないため	1	8
センター以外で就職をしていたため	3	23
健康上の理由	0	0
希望した仕事がないため	2	15
家庭の事情のため	1	8
前の会社から仕事の誘いがあった	1	8
就業意欲がなくなった	1	8
その他	4	30
合 計	13	100

※その他の内容

- ・連絡がない
- ・9月に入会
- ・入会したばかりで仕事の予定(10/18～)に至っていない

⑦これまで作業中に危険を感じたことはありますか。

項 目	件 数	比 率
ある	35	29
ない	87	71
合 計	122	100

⑧ ⑦で「ある」と答えた方にお聞きします。どのような場面で危険を感じましたか。(複数回答可)

項 目	件 数	比 率
作業現場の凸凹や段差などの足場の悪いところ	10	15
機械等を使用するとき	8	12
高い場所で作業をするとき	7	10
雑木林や岩場など害虫や蛇がいそうなところ	4	6
急いで仕事をしなければならないとき	4	6
交通量の多いところ	5	8
人や車が急に道路に出てきたとき	5	8
斜面が急な場所の草刈り	16	24
重い物の片付け	5	8
その他	2	3
合 計	66	100

※その他の内容

- ・重機類と作業の時
- ・ハチ、毛虫が多い時

⑨センターに入会して満足していますか。

項 目	件 数	比 率
満足	41	33
まあ満足	31	25
普通	39	32
やや不満	8	7
不満	4	3
合 計	123	100

●就業意向調査結果のまとめ

センターに入会している理由として、「体や健康のため」、「生きがいくりのため」、「社会参加の喜びを得るため」との回答が多く、センターの意義が十分反映された回答となっておりますが、「家計を補うため」の回答も10%ありました。最近の入会の動機も「健康的」の次に「経済的」が多く、会員の就業意欲は「経済的」という理由が増えてきているようです。

センターの業務は夏場の時期が多く、そして屋外作業に集中しているため、外仕事以外を希望している会員のためには、今以上に就業開拓が必要であり、未就業会員の就業の場も開拓して行く必要があると感じております。

また、安全就業についても大きな課題です。「これまで作業中に危険を感じたことがありますか」の質問に29%の方が「ある」と回答しております。就業現場での安全就業の徹底、安全講習会等により、安全就業の意識の向上を図ります。

今回、初めてのアンケート調査ということもあり、回収率が44%と低く、会員からの意見・要望も少なく、残念な結果に終わっております。

センター運営は会員と事務局が協力し合い成り立ちます。今後も会員皆様と共に、より良いセンターづくりを目指し、一人でも多くの会員がセンターに入会して「満足」と感じてもらえるように努力して参りたいと思います。

平成二十六年のセンター行事

新春懇親会の開催

平成二十六年一月十九日に、「震災に負けずたまたまっか！ 頑張っぺしー」と、震災後二回目となる新春懇親会を開催いたしました。

来賓として東松島市副市長大沼雄吉様、東松島市議会議長滝健一様、宮城県議会議長渥美巖様、東松島市商工観光課長勝又研一様の出席をいただき、会員五十三名が出席して懇親を行い、親睦を深めました。座興では大正琴の演奏、歌、踊りと会員が次々に出し物を繰り出し、大いに盛り上がり、本当に楽しく、震災の悲しいでき事を忘れる一日となりました。



料理講習会の開催

二月五日、小野市民センターにおいて、男性の会員及び市内在住の高年齢者を対象に、減塩メニューによる「男の料理教室」を開催しました。

参加者は十八名（会員十五名、一般三名）で、講師の東松島市健康推進課管理栄養士の高橋麻美さんと鶴飼その子さんの指導のもと、

日頃、料理をしない方がほとんどでしたが、和気あいあいと楽しく料理を作り、食と健康について学びました。

参加した方々は、日頃の塩分の取りすぎを理解したこと、今後の健康管理に活かされて行くものと思います。



普通救命講習会の開催

会員及び市内在住の高年齢者を対象に、東松島市老人福祉センターで普通救命講習会を二回開催しました。一回目は、二月十三日に参加者十八名（会員十五名、職員三名）で行いました。

署員にお願いし、心臓マッサージ、人工呼吸、AEDの取り扱い、止血方法、喉の異物除去方法を学びました。

講習会で経験した実技を活かし、緊急事態に遭遇しても、落ち着いて対応する事ができると思います。

二回目は十一月十二日に二十七名（会員二十二名、一般二名、職員三名）の参加を得て実施しました。講師は矢本消防



また、普通救命講習会は、今後も消防署にお願いし継続して開催する予定です。参加されますようお願いいたします。

交通安全教室の開催

四月二十三日、講師に県警本部長指定運転者研修会講師二杉園一郎先生をお招きし、会員二十八名が参加し交通安全教室を開催いたしました。

まず交通ルールに関する映画を上映しましたが、出演者がケシー高峰ということで、楽しく分かりやすく交通ルールを学ぶことができました。

先生の講話では具体的な罰則、罰金・ほう助行為の話をしていただき、大変参考になりました。



安全パトロールの実施

七月〜十月にかけて安全・適正就業委員並びに地区安全対策員合同の安全パトロールを十五回実施しました。作業現場を巡回し、当日の気象状況、現場の状況に応じて就業している会員に、適切に声がけして注意を促し、事故防止に努めました。



平成二十六年定時総会の開催

平成二十六年年度の定時総会が五月二十九日に小野市民センターにおいて開催されました。総会には会員数二九一名中、本人出席九二名、書面出席一二九名の出席のもと、小松班の松浦正義会員が議長に選任され、議案については、全て満場一致で承認されました。

尚、役員の改選期ということで、理事一名を増員し、次の方々が新たに就任いたしました。

◎理事

佐々木善吾（大溜班）
大崎よう子（大塩班）

◇退任

丹野美代子（小野二班）

植木剪定講習会の開催

十月七日、旧浜市小学校を会場に当センターでは六年ぶりとなる植木剪定講習会が会員二十一名の参加により開催されました。

今回の講師は、県立大崎高等技術専門校造園科講師・一級造園技能士の佐藤仁先生で、植木に対する知識が豊富な上、話術も達者で分かりやすく、実技も熟練に達しており、大変参考になりました。

受講した会員も積極的に質問し、そして実技を行い、特に実際植木剪定を行ってゐる会員は、今後の業務に大いに役立つと思われました。今回の講習会で改めて、樹木も人間と同じく生きてゐること。樹木剪定を行う上で、樹木それぞれの性質を知ることがいかに重要か分かりました。



「シルバーの日」

普及啓発と清掃奉仕活動を実施

「全国一斉シルバーの日」である十月十八日(土)に、会員七十名が参加し、普及啓発活動と清掃奉仕活動を実施しました。

普及啓発活動として、市内大型店二カ所で買い物客に声掛けし、チラシ・ポケットティッシュ等を配付して、

シルバー人材センターの存在をアピールし、普及啓発と



会員の勧誘に努めました。清掃奉仕活動では、市役所、鳴瀬庁舎を中心とした公共施設と、周辺の道路のゴミ・空き缶などを拾い集め、環境美化に努めました。また、本年は市役所前の花壇の草取りも行いました。

参加した会員は、一生懸命、普及啓発活動と清掃奉仕活動に努めました。

草取り講習会の開催

十一月六日、除草班草取りグループと草取り就業希望会員を対象に、草取り講習会を開催しました。

講師は奥田家寿子会員にお願いし、草刈り鎌の使い方や就業時の注意点などを話していただきました。その後、実技、意見交換など



十一月五日、除草班草取りグループを対象に草刈機技能講習会を開催しました。

当日は十九名が参加し、機械メーカーの担当者講師としてお願いし、草刈機での事故の事例等を話に加えながら、安全に関



を行い終始和やかに進みました。

参加者は、就業時の作業・行動について再度見直し、改めることができたと思

視察研修旅行の実施

本年は、日帰り旅行は申込者が少なく中止となり、昨年に引き続き鳴子温泉に一泊旅行を実施いたしました。

当日の十一月二十四日は晴天で一行二十三名、元氣一杯出発しました。午後三時頃に鳴子温泉のホテルに

ます。

参加人数は、九名と少数でした。自転車組で近ければ参加したかったとの声もあり、来年は参加人数が増えるように検討して行きたいと思えます。

到着、各部屋ごとに懇談、温泉につきり日頃の疲れを癒しました。

午後六時、会食懇談、齋藤理事長の挨拶、小林世明班長の音頭で乾杯、中井輝雄班長と佐々木美智子さんの絶妙な司会でカラオケ、踊りとあつ！という間に楽しい時間が過ぎました。

来年は互助会での行事となりませんが多くの会員の参加をお待ちしております。



みんなの広場

植木班の班長になって

植木班二班 班長 高橋 勝 栄

私は班長になって色々なことを学びました。特に、新規のお客様は、植木の種類、見積り等で大変です。仕事に行つたとき、お客様に朝のあいさつをしますが、お客様からの「おはよう」の返事で、その日の様子が分かります。休憩時間は声をかけて、

リラックスする様に心がけています。

仕事が終わり返り返つて見ると、お客様は「ありがとう」と言っている様に見えます。また、帰り際に「来年もお願いします」と言われると、元気をもらい、仕事の疲れもなくなります。

「小事は大事」常に安全を優先にして

除草班一班草取りグループリーダー 佐藤 いよ子

除草班一班草取りグループから報告します。「今日もよろしく」明るい掛け声で一日の作業は始まります。作業の途中ではその時の現場の状況により難しい場合もありますが、その都度グループ会員の結束と協力できり上げております。高齢化が進み一人暮らしの方からの依頼が毎年少なくなっております。訪問して

つも感じるのは、一様に笑顔で迎えられることです。雑草で荒れた庭が会員の手で見違えるようになれば、また喜ばれ楽しい作業となります。地域から信頼される顧客からも感謝されるグループで熟女パワーを発揮し、更に頑張っていきたいとこ

ろです。十一月十二日、普通救命講習会にグループから二名

草刈グループリーダー一年生

除草班二班草刈グループリーダー 小野 敏

今シーズン(二〇一四年)初めより除草班一班が三グループ制となり、小生にそのうちの一つのリーダーの指名がありました。今の私の技量、経験からすれば身に余る大役であると感じ、初めはお断りしましたが、是非にとの薦めもあり、かねがね、地域班長もリーダーも使い走りであると認識しておりましたので、若い(?)

者がやるべきであろうと、お引き受けすることにしました。

当初は七人の大所帯に対して、仕事量が少なく、仕事の割り振りに苦慮しましたが、最盛期になつてまああの配分ができたかなと思っております。グループの人にも恵まれ、助けを借りながらなんとか平穩無事

学童保育業務が大好きです!

学童保育班大曲小学校校区リーダー 石川 つや子

さあ、今日は学童だー。早寝早起きをして暑くとも寒くとも身が引き締まります。ぐうたらな毎日の生活の中での、月二〜三回のこの仕事が好きで、楽しみに待っています。地域の子ともなかなか知り合える機会のない中で、元気な子ども達とふれあえるこのひとときは、私にとって、とても貴重な時間です。

に一シーズンを乗り切れそうです。

草刈り作業は体力的にもきつい仕事であるとともに、事故災害のリスクも高い仕事です。常に緊張感をもち、健康管理を怠らず、しかし和気あいあいと楽しくやって行きたいと思えます。



ゲーム機やテレビに頼らず、将棋をしたり卓球やサッカーと元気に外で遊んだりしている姿をまのあたりにし、その中に一緒になつたつぷりと子ども達のエネルギーをいただく。これが最高です。自分の身体に気をつけ、これからもできる範囲で仲良く楽しく続けられるといいなあとと思えます。

事務局からのお知らせ

「年金現況届」等の記入及びそれ以外の様々な書類等への記入上の注意

皆様は毎年提出している年金等の現況届等の中に「職業」という欄がありますが「職業」という欄がありませんが決して「東松島市シルバー人材センター」もしくは「就業先の会社名を記入しないでください。又それ以外の様々な書類等も同様です。

皆様は、雇用によってシルバー人材センターに雇われたわけではありません。自分自身の意思により入会、会員登録し臨時的・短期的な就業をしているので、その様な職業欄に記載するときは「無職」となります。記入を間違えますと、社会保険事務所から事務局に対し様々な指摘を受けるばかりか、各関係機関にご迷惑がかかります。注意していただきますようお願いいたします。詳しくは事務局までご相談ください。

会員互助会の設立に向けて準備委員会を立ち上げ！

平成27年度に会員互助会を設立いたします。会員互助会は22年度の事業終了をもって解散いたしました。会員相互の親睦、健康増進及び生きがいの向上のためには、互助会が必要との声が多く、会員互助会設立準備委員会を立ち上げて、再設立に向けて鋭意検討を進めておりますので、会員の皆さんも、ご協力下さいますようお願いいたします。

☆設立準備委員会の委員は次のとおりです。

- 委員長 伊藤 隆 (北赤井班)
- 副委員長 伊藤 宏 (小野二班)
- 委員 中井 輝雄 (上町二班)
- 委員 小野 敏 (下町二班)
- 委員 五野井 憲 (上納横沼班)
- 委員 松浦 正義 (小松班)
- 委員 高橋 勝栄 (上下堤班)
- 委員 小野 邦昭 (宮戸班)

会員の動向

▼新会員の紹介 (敬称略)

- 平成二十六年一月
 - 相澤 良子 貝田筒場班
 - 山村やえ子 上下堤班
- 平成二十六年四月
 - 大崎 和男 大塩班
 - 佐藤 隆 上町班
 - 千葉 光子 上納横沼班
 - 阿部 國夫 上納横沼班
 - 藤田 光人 上納横沼班
 - 浅野 晃 小松班
 - 高山 行政 小野二班
 - 本田 義一 小野二班
 - 小山 明 大曲浜班
 - 遠藤 輝夫 大曲浜班
 - 菅野 克政 大塩班
 - 佐藤 儀雄 北赤井班
 - 土井 美枝 下町一班
 - 鹿野 永子 上河戸班
 - 渡邊もと子 下町一班
 - 千葉 孝行 小野一班
 - 深瀬 繁男 小野一班
 - 柏 ヨシエ 小野一班
- 平成二十六年五月
 - 最上 俊助 上町班
 - 阿部 末雄 下町一班
 - 佐藤 清 大塩班
 - 阿部 儀正 南赤井二班
 - 阿部 利昭 宮戸班
- 平成二十六年六月
 - 佐藤三津子 下町二班

▼退会された方々 (敬称略)

- 三浦喜代子 大塩班
- 氏家 敏明 下町二班
- 高橋 富義 南赤井一班
- 菊地 勝昭 大塩班
- 平成二十六年七月
 - 八重樫きみゑ 下町二班
 - 横山 國宏 上納横沼班
- 平成二十六年八月
 - 三上 栄喜 上河戸班
 - 武沢 典幸 小松班
 - 佐藤 洋一 東名班
- 平成二十六年九月
 - 近藤 通 上納横沼班
 - 佐々木勝義 大塩班
 - 菱沼 惇 南赤井一班
 - 横山あつ子 上納横沼班
 - 高山 文子 小野二班
- 平成二十六年十月
 - 辺見 健治 大塩班
- 平成二十六年一月
 - 寺田 愛子 下町二班
- 平成二十六年二月
 - 尾形 敏子 立沼道地班
- 平成二十六年三月
 - 三浦美喜子 小野二班
 - 海馬フキ子 浅井中下班
 - 勝又 清也 南赤井一班
 - 阿部 幸子 下町二班
 - 内海 孝子 小野一班
 - 志野 栄子 小野一班
 - 川田 宗一 北赤井班
- 平成二十六年四月
 - 安積 恵子 立沼道地班
 - 小笠原カシク 小野一班
 - 相澤 正樹 南赤井二班
 - 佐久間京子 小野一班
- 平成二十六年五月
 - 鈴木知恵子 大塩班
 - 安住 昭一 貝田筒場班
 - 小野千賀子 小野一班
 - 菅野 克政 大塩班
- 平成二十六年六月
 - 千葉 英治 塩入班
 - 本間 正志 小松班
 - 島津 昌長 上納横沼班
 - 小野 桐子 南赤井一班
 - 小野 孝治 南赤井一班
- 平成二十六年七月
 - 白出 啓一 小野二班
 - 山形富士子 大溜班
 - 邊見 公 上町班
- 平成二十六年八月
 - 千葉 栄一 小松班
 - 大友 節朗 小野一班
 - 小野寺栄治 小野二班
 - 中田ひで子 下町二班
 - 越中みつ子 小松班
 - 津田とも子 大曲班
 - 阿部 修一 大塩班
 - 本間 裕次 小野二班
- 平成二十六年九月
 - 高橋栄一郎 下町二班
 - 千葉ケエコ 小野二班
 - 矢本ちや子 大塩班
 - 茂木 忠 小野一班
 - 芳賀さか子 小松班
 - 武田 武夫 南赤井一班
- 平成二十六年十月
 - 安積 恵子 立沼道地班
 - 小笠原カシク 小野一班
 - 相澤 正樹 南赤井二班
 - 佐久間京子 小野一班
 - 鈴木知恵子 大塩班
 - 安住 昭一 貝田筒場班
 - 小野千賀子 小野一班
 - 菅野 克政 大塩班
 - 千葉 英治 塩入班
 - 本間 正志 小松班
 - 島津 昌長 上納横沼班
 - 小野 桐子 南赤井一班
 - 小野 孝治 南赤井一班
 - 白出 啓一 小野二班
 - 山形富士子 大溜班
 - 邊見 公 上町班
 - 千葉 栄一 小松班
 - 大友 節朗 小野一班
 - 小野寺栄治 小野二班
 - 中田ひで子 下町二班
 - 越中みつ子 小松班
 - 津田とも子 大曲班
 - 阿部 修一 大塩班
 - 本間 裕次 小野二班
 - 高橋栄一郎 下町二班
 - 千葉ケエコ 小野二班
 - 矢本ちや子 大塩班
 - 茂木 忠 小野一班
 - 芳賀さか子 小松班
 - 武田 武夫 南赤井一班

賛助会員のご紹介

当センターの事業目的にご賛同いただき、事業にご協力いただける市内の企業・団体の皆様方に、下記のとおり賛助会員として加入いただいておりますので、ご紹介を致します。

<p>有限会社 ヤモト製版 〒981-0505 大塩字中沢上57番地 ☎82-2591</p>	<p>株式会社 いしがき金物店 〒981-0503 矢本字河戸11番地 ☎82-3122</p>
<p>株式会社 おいかわ 〒981-0503 矢本字栄町41 ☎82-2309</p>	<p>有限会社 佐藤建設 〒981-0505 大塩字清水沢15-1 ☎82-8802</p>
<p>有限会社 千葉岩材工業 〒981-0413 新東名4丁目8-8 ☎88-3949</p>	<p>奥洲物産運輸 株式会社 〒981-0504 小松字上二間堀176番地 ☎82-5211</p>
<p>有限会社 ケーシー・スクエア 〒981-0308 牛網字東牛坂107-1 ☎86-1553</p>	<p>石巻信用金庫矢本支店 〒981-0503 矢本字上新沼21-2 ☎82-2335</p>
<p>有限会社 阿部産業 〒981-0503 矢本字上河戸192-2 ☎82-6226</p>	<p>有限会社 津野商会 〒981-0505 大塩字大島沖下5-2 ☎82-8783</p>
<p>有限会社 鳴瀬畠山自動車 〒981-0303 小野字中央2-2 ☎87-3818</p>	<p>株式会社 石巻青果 〒981-0501 赤井字南三242-1 ☎83-6111</p>
<p>医療法人医徳会 真壁病院 〒981-0503 矢本字鹿石前109-4 ☎82-7111</p>	<p>医療法人社団百毫会 藤野整形外科 〒981-0503 矢本字大溜25-1 ☎83-2121</p>
<p>株式会社 尾形土建 〒981-0411 野蒜字山崎13-2 ☎88-2147</p>	<p>☆賛助会員募集中☆ センター事業を理解していただける、市内の企業・団体を募集しています。</p>

編集後記

昨年の十一月、前任者の
 退任もあり、新たに機関紙
 編集委員八名が理事長より
 委嘱を受け、会報発行に向
 けスタートを切りました。
 発刊にあたり多くの方々
 から、たくさんのお手紙をい
 ただき、お陰様で新年号を
 発行することができました。
 広報部会では、センター
 の普及・啓発事業の一旦と
 しての、「シルバーだより」
 の紙面充実を図るため、会
 員皆様のご意見・ご要望等
 の、ご投稿を事務局までお
 寄せ下さいますよう、よろ
 しくお願い致します。

(尾形)

編集委員長 伊藤 宏
 編集委員 尾形 俊文
 佐々木 善吾
 三浦サイ子
 鈴木 力
 高橋 勝栄
 松浦 正義
 小林 世明

" " " " " "
 小 松 高 鈴 三 佐 伊
 林 浦 橋 木 浦 々 藤
 世 正 勝 力 サ 善 俊 宏
 明 義 栄 力 サ 吾 文 文

